

(4) その他（報告事項）

資料6

ア 保護林における獣害対策等の取組について（報告）

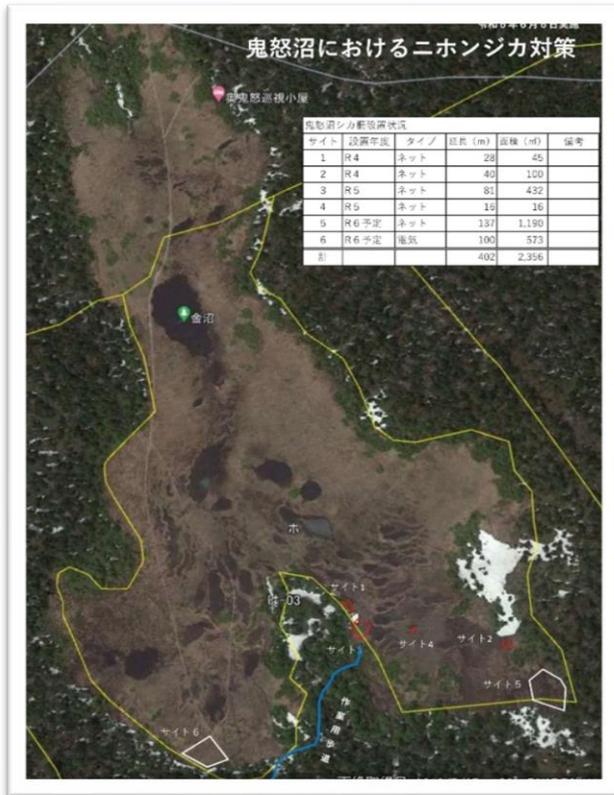
保護林管理委員会の意見を踏まえた獣害対策の検討

1 日光森林管理署

○奥鬼怒生物群集保護林

昨年設置した保護柵4か所に加え、令和6年6月に鬼怒沼において環境省・栃木県外関係者39名により新規2か所（木道沿）に保護柵（内1か所については電気柵サイト6）を設置

設置位置図



サイト5



サイト6



○茶ノ木平ウラジロモミ希少個体群保護林
令和6年度単木保護実施予定

○湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林
令和6年度単木保護実施予定

○千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林
令和7年度保護柵修繕を予定



2 千葉森林管理事務所

○南房総モミ希少個体群保護林

植生保護柵 1か所 (10m×10m) を職員実行により令和6年7月に設置



○元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林

現地において、ヒメコマツ稚樹を確認
単木保護の試行を念頭に管理事務所において対応を検討中

※補足

ヒメコマツについては、千葉県が主体となり現地確認を実施

民有林も含めリストを作成し現況を把握

国有林においても千葉県と合同で確認等を実施し、国有林内に現存する対象木について樹幹注入など対策を実施 (ナンバリングによる管理)



樹幹注入木調査野帳兼管理台帳

千葉森林管理事務所小墾国有林外
調査担当者 飯嶋氏名 代表理事 影山 明男

林小班	ナンバー	樹種	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	材積 (m³)	実施年月日	薬剤名	注入量 (cc)	注入後の経過等
60	い1	元清澄1	ヒメコマツ	44	19	1.38	2019/2/26	ツガード	420・7本
63	い1	元清澄2	ヒメコマツ	44	19	1.38	2019/2/26	ツガード	420・7本
63	に1	元清澄4	ヒメコマツ	60	23	2.97	2019/2/18	ツガード	660・11本
63	に1	元清澄5	ヒメコマツ	44	22	1.60	2019/2/18	ツガード	300・5本
63	に1	元清澄6	ヒメコマツ	48	22	1.89	2019/2/18	ツガード	210・9本
63	に2	元清澄7	ヒメコマツ	32	20	0.80	2019/2/18	ツガード	300・5本
63	ち	元清澄8	ヒメコマツ	42	18	1.20	2019/2/26	ツガード	300・5本
63	ち	元清澄9	ヒメコマツ	34	19	0.86	2019/2/26	ツガード	300・5本
63	り3	田代1	ヒメコマツ	40	11	0.67			樹幹につき注入なし
65	ぬ	田代2	ヒメコマツ	38	14	0.78	2019/2/18	ツガード	300・5本
65	わ	田代3	ヒメコマツ	32	12	0.49	2019/2/18	ツガード	240・4本
68	ち	香木原2	ヒメコマツ	28	11	0.36	2019/2/23	ツガード	180・3本
68	ち	香木原2A	ヒメコマツ	28	13	0.42	2019/2/23	ツガード	180・3本
68	ち	香木原2B	ヒメコマツ	26	13	0.42	2019/2/23	ツガード	180・3本



3 茨城森林管理署管内

○八溝山ツガ・ダケカンバ希少個体群保護林外 1

茨城県ニホンジカ情報連絡協議会と連携しながら取組を進めているところだが、母樹や下層植生への影響が確認される前にシカ柵設置の規模や手法について森林総合研究所と署が共同で検討（令和6年11月25日現地確認を予定）

○小川ブナ希少個体群保護林

保護林内に森林総合研究所「小川試験地」を設定済。
近隣においてシカ目撃情報があることからシカ侵入前の状況を保全・把握することを目的に森林総合研究所が令和7年度にシカ柵設置を検討

設置にあわせ現地検討会を予定

4 福島森林管理署

○増沢モミ希少個体群保護林

令和6年度植生保護柵設置予定（職員実行）

5 伊豆森林管理署

○八丁池・皮子平生物群集保護林

令和7年度保護柵追加設置を検討中

茨城署



伊豆署



福島署



7 静岡森林管理署

○富士山嵯塚ウラジロモミ希少個体群保護林

令和7年度保護柵追加設置を検討中

○富士山生物群集保護林

令和7年度保護柵修繕を予定

○富士山六番ブナ希少個体群保護林

令和7年度保護柵修繕を予定

8 下越森林管理署

○赤谷山スギ遺伝資源希少個体群保護林

災害による林道修繕が完了し現地までの通行が確保できたことから、今後保護林の状況について確認のうえ対応について検討予定

静岡署



下越署

